

第4回 福岡市立新病院に関する小児2次医療連絡協議会 議事要旨

- 日 時 平成23年7月27日(水) 14時00分～15時00分
- 場 所 天神ビル 11階 1号会議室
- 出席委員 独立行政法人国立病院機構九州医療センター院長 村中委員
国家公務員共済組合連合会浜の町病院院長 安井委員
地方独立行政法人福岡市立病院機構
福岡市立こども病院・感染症センター院長 福重委員
福岡市医師会会長 江頭委員

議題1 新病院整備の進捗状況について

〈事務局からの説明〉

- ・「資料1 新病院整備の進捗状況について」に沿って説明を行った。

議題2 福岡市小児医療情報ネットワークシステムの構築について

〈事務局からの説明〉

- ・「資料2 福岡市小児医療情報ネットワークシステムの構築について」に沿って説明を行った。
- ・今後、福岡市小児医療情報ネットワークシステムについて、利用状況を調査する予定である。その際には、医師会にも協力をお願いする予定。

〈委員からの主な意見〉

- ・平常時にはネットワークシステムが機能しなくてもさほど困らないが、インフルエンザが流行ったときなどの非常時には、有効である。
- ・急患センターからの2次搬送例はきちんと引き受けてやらないと大変である。

議題3 福岡市立新病院に関する小児2次医療連絡協議会の今後のあり方について

〈委員からの主な意見〉

- ・福岡市の中で小児2次医療連絡協議会がどういう位置づけになるのか明確にすべきである。
- ・小児2次医療連絡協議会を諮問機関とするのであれば、正式に依頼文書を出していただきたい。
- ・市長が「こども病院のアイランドシティ移転後、弱体化する小児医療については責任をもってやります」と言った、その「責任をもって」の受け皿が小児2次医療連絡協議会になるべき。

- ・医師会としては、小児２次医療提供体制の確保策については、まず小児２次医療連絡協議会が有効に機能し、地域連携がうまく行けば言うことはなく、それで、もし足りない分があれば、医師会が責任をもって調整の役割を果たしていく。
- ・小児２次医療連絡協議会の位置づけは以前より重たくなったと理解している。
- ・委員として行政から理事が参加したほうがよい。
- ・福岡大学病院院長や福岡地区小児科医会も委員として参加してもらったほうがよい。
- ・小児２次医療連絡協議会と小児医療連絡会議がどう連携を取るか検討したほうがよい。
- ・小児１次医療、小児２次医療、小児３次医療の実際のニーズなどの具体的な数値を示してほしい。
- ・正式なメンバーが都合の悪いときは、代理を立ててもよい。

〈確認された事項〉

- 小児２次医療連絡協議会の位置づけを明確にするとともに、規約をそのことを盛り込んだ形に改正する。事務局で案を作成し、次回会議の前までに、できるだけ早く、各委員へ個別に説明に回る。
- 福岡大学病院、福岡地区小児科医会に対し、小児２次医療連絡協議会への参加を要請するとともに、行政も委員として小児２次医療連絡協議会に参加する。
- 小児２次医療連絡協議会を定期的開催する。次回は23年10月を目途に開催する。